

# 子どもの人権啓発活動の強化

## 現状と問題点

### 現在の人権環境

高齢者虐待 障害者差別 DV 原発被災者への差別

子どもを取り巻く人権問題

いじめ

児童虐待

体罰

ネット侵害

様々な人権問題が社会で生じている

にもかかわらず…

大人も子どもも無関心

内閣府世論調査(H19) 基本的人権について知らない人の割合が増加

社会で生じている様々な問題は、本来誰もが考えるべき人権に関する問題であると認識できていない

人権意識・人権知識の希薄化

知らずに他人を傷つけてしまう

問題点

社会で生じている人権問題を身近な問題として考える機会の欠如

## 対策



参加型の人権啓発イベントを展開  
→「人権を考える集い(仮称)」の開催

現在問題となっている様々な人権課題について

- 各都道府県内の中学生による公開討論会や
- 専門家による基調講演 などを実施

メディアが取り上げる

広く世間に周知

派遣

イメージキャラクター



ウォークバルーン

派遣

さらに

実績のある事業をさらに拡大

子どもの人権教室



人権教室は、子どもたちに対する人権啓発活動の一環として、学校機関の協力のもと、総合的な学習の時間等を利用し、人権擁護委員が啓発資料等を使って人権に関する授業を行うというもの。

学校側から拡大要望あり!

家庭においても人権問題について考えるきっかけに



人権の花運動

人権擁護委員が小学校などに赴き、花の種や球根を配布し、それを子どもたちが協力して栽培し、地域の人々と触れ合うなかで、思いやりの心を体得させることを目的とするもの。



育てた花を地域の老人ホームなどへ贈呈

子どもを中心とした多くの国民に人権尊重の意識を広めることができる

「安心・安全社会の実現のための基盤強化」に資する